

# 東京都立大江戸高等学校 平成28年度 地理歴史科 年間授業計画

1. 科目名 江戸から東京へ
2. 講座名(単位数) 江戸から東京へ(1単位)
3. 教科担当者
4. 使用教科書・教材 『江戸から東京へ』(東京都教育委員会)  
『江戸から東京へ歴史地図帳』、『江戸から東京へサブノート』(東京都教育委員会)
5. 授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	○幕藩体制の成立 江戸幕府の外交政策 江戸の経済と交通流通	○幕藩体制の成立と社会や文化の特色について理解する。 江戸時代の外交政策や経済のしくみについて理解する。	①近世から現代に至るまでのわが国と東京の歴史の基礎的基本的事項について理解している。 ②自ら目的意識を持ち、興味・関心をもって学習に意欲的に取り組んでいる。 ③多面的・多角的な視野をもって歴史事象を捉え、論理的に思考し、公正に判断し、適切に表現しようとしている。 ④国際社会におけるわが国や東京の地位と課題、責任について理解しようとしている。	2
	5	○幕府の安定 幕政の改革の時代 江戸の文化	○江戸時代の庶民の生活や町政のしくみを理解するとともに、享保・寛政・天保の改革について理解する。		4
	6	○列強の接近 開 国 江戸幕府の滅亡	○幕末における列強国の接近や国際情勢の変化や、幕藩体制の動揺と倒幕にいたるまでの流れを理解する。		4
	7	○明治維新と富国強兵 殖産興業と文明開化 初期の国際問題	○明治維新によってどのような近代国家の形成の仕組みづくりが行われたかについて理解する。		3
2 学期	9	○自由民権運動と激化事件 大日本帝国憲法と初期議会 初期の外交政策と条約改正	○農民や士族の不満が生まれ自由民権運動が高まったことを理解する。 明治憲法について理解する。		4
	10	○日清・日露戦争と国際関係 近代産業の発展 第一次護憲運動と政党内閣の成立	○日清・日露戦争前後の対外関係の変化・アジア侵出について理解する。 明治以降の産業革命の進行について理解する。		3
	11	○第一次世界大戦と市民文化 関東大震災と復興 政党政治の展開と世界恐慌	○大正期における民主主義の浸透と第一次世界大戦前夜の国際情勢、協調外交の展開について理解する。		4
	12	○軍部の台頭とテロ事件の多発 日中戦争と新体制運動	○昭和初期の恐慌の連続と中国国内の政治情勢を理解し、日本の外交方針の転換を理解する。		3
3 学期	1	○太平洋戦争 新生日本のスタート 憲法の制定と東京都の出発	○太平洋戦争の経過と様相を理解する。 GHQによる占領政策の展開と戦後の混乱期について理解する。	上記の観点に基づき、 1 定期考査 2 提出物 3 出席状況から総合的に評価する	3
	2	○講和と安保条約 独立後の政治と平和の動き 保守政権の安定と外交	○日本を取り巻く国際情勢の変化について理解するとともに、冷戦が日本に与えた影響を理解する。		3
	3	○高度経済成長とそのひずみ 現代の生活文化 バブル景気と社会の動揺 国際都市東京	○55年体制の成立や高度経済成長、日本社会の変化について理解する。 国際経済の中で日本や東京の役割が重要視されていることを理解する。		2
予定時数計					35

